

# 地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 後期 第8回)のご案内

## 内陸地震発生域を電磁気学的手法でみる ～みえてきたこと・これから～

吉村 令慧

防災研究所 地震防災研究部門

近年、流体(水)に対する感度の良さから、地震発生場の評価指標として電気比抵抗構造調査への期待が高まっている。事実、各地での精力的調査により、活構造下の深部比抵抗構造が明らかにされ、地震活動との関係について活発な議論がなされている。

今回の発表では、内陸地震震源域周辺での電磁気学的手法による調査(跡津川断層、能登半島地震、長野県西部地震、花折断層、箱根誘発地震など)からみえてきた特徴的な不均質構造をレビューするとともに、今後の調査研究の目指すところを紹介したい。

11月28日(水) 午後4:30～午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室